

【オリコンサルHD 業績目標が射程圏内 重点化事業で収益力強化】

# オリコンサルHD

## 業績目標が射程圏内 重点化事業で収益力強化

オリエンタルコンサルタンツホールディングス（HD）は、経営ビジョンで設定している業績目標の達成を射程圏に入れた。同社は2025年9月期の業績目標を連結売上高700億円などに設定している。30日に東京都内で開いた18年10月～19年3月期の決算説明会で、野崎秀則社長は経営ビジョンの目標が前倒しで達成できる可能性を示唆。19年9月期の連結売上高が540億円になるとの見通しを明らかにした。引き続き重点化事業に掲げる防災や地方創生などで収益基盤を強化し、業績アップにつなげていく。

同社は昨年10月に経営ビジョンを開始した。25年9月期の連携業績目標として売上高700億円、営業利益30億円を設定した。ビジョン達成に向け、重点化事業の▽インフラ整備・保全▽防災▽交通（高度化・統合）▽地方創生（再生可能エネルギー、スマートコミュニティなど）▽海外新規開拓に注力する。防災分野では、気象予報サービスなどを展開するハレックス（東京都品川区、藤岡浩之社長）と共同で「土砂災害警警戒情報シス

テム」を開発した。東京都奥多摩町に導入し、避難誘導支援サービスを行っている。インフラ整備・保全関連は、コンセッション（公共施設等運営権）方式で南紀白浜空港（和歌山県白浜町）の運営事業に参画するなど、収益基盤の多様化を推進。海外はミャンマー・マンダレー港の開発計画に伴い、施工監理や入札支援業務を手掛けるなど着実に受注件数を伸ばしている。

更新した。19年9月期の連結業績は売上高540億円、営業利益21億円、純利益12億600万円を見込む。野崎社長は良好な受注環境により「中期ビジョンの目標は25年にならなければ達成できないというわけではない」と表明。20年9月期の目標売上高（500億円）を2年前倒しで実現したことを挙げ、経営ビジョンに掲げた目標も前倒しで達成可能とした。



野崎社長

これら重点化事業の推進により、18年10月～19年3月期は売上高275億4700万円（17年10月～18年3月期244億7900万円）。営業利益16億3000万円（12億7500万円）、純利益9億4000万円（6億7500万円）となり、いずれも過去最高を